



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和4年5月30日
文責：校長 江上 知男

「子どもの主体的な姿」が発揮された運動会でした！



徒走(中学年)



ダンス(低学年)



マスゲーム(高学年)



共同エール(応援団)

素晴らしい天候に恵まれ、5月28日(土)に嘉島西小学校運動会を開催しました。「学年ごとにまとめたプログラム」「保護者参観入れ替え制」等の制限を設けた運動会となりました。しかしながら、各学年の競演技や応援団を中心に練習の様子が日に日に充実し、本番では子どもたちが躍動する姿を目の当たりにして、とても感動しました。

最後の運動会となった6年生は、高学年の競演技のほか係活動等で全学年のプログラムに関わりましたが、よく考え、主体的に動く姿に、6年間の成長を感じました。また、5年生も6年生の姿を追いかけるように真剣な姿が見られました。さらに1～4年生についても、他の学年の競演技を盛り上げて応援する姿が見られ、こちらも嬉しくなりました。行動目標でもある「心を一つに仲間と笑顔のわを広げよう！！みんなの努力に金メダル」というスローガンは、高学年や応援団のリーダーを中心に十分に実現できたのではないかと思います。

運動会及び体育大会は、「自分のために、みんなのために全力を尽くす」という体験をさせてくれます。そして、中学校・高校等でレベルを上げていきます。それは、将来社会に出たときに、職業人として・家庭人として生きるために絶対必要な力だからです。この運動会をとおして、子どもたちの心に「みんなで創り上げて楽しかった！」という温かい思いが残ってくれたら嬉しいです。

事前の準備から当日のサポートまでお世話になった保護者の皆さま、本当にありがとうございました。嘉島西小学校が「地域とともにある学校」であることを改めて実感させていただきました。

最後になりましたが、「家族のみの参観」という制限から入場を遠慮いただいた地域の皆さま、大変申し訳ありませんでした。コロナ禍が解消後には、多くの方のご来校をお待ちしております。

応援団の「応援合戦」後半は、両団と一緒に嘉島町を応援する「共同エール」でした。その中で、ロシアのウクライナ侵攻をテーマとして「平和を願う言葉」が盛り込まれていました。私は「鳥肌が立つ」ほど心を揺さぶられるとともに、「平和な日本を次世代に残すのは、私たち大人の重要な責任」であることを再確認させられました。「世界に目を向けること」を学校として取り組んでいきたいと感じています。